



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月9日

上場会社名 川田テクノロジー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3443 URL https://www.kawada.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川田 忠裕
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 渡邊 敏 TEL 03-3915-7722
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	26,783	2.1	△1,130	—	△264	—	50	△94.0
2019年3月期第1四半期	26,243	10.3	434	—	1,035	—	841	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △0百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 966百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	8.67	8.64
2019年3月期第1四半期	145.28	144.41

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	126,875	54,624	42.5
2019年3月期	128,062	55,245	42.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 53,932百万円 2019年3月期 54,526百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	100.00	100.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	1.4	4,800	△20.9	5,800	△32.1	4,300	△29.1	733.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	5,912,370株	2019年3月期	5,909,170株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	52,544株	2019年3月期	51,941株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	5,857,896株	2019年3月期1Q	5,794,685株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	10
受注、販売及び繰越高の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高26,783百万円（前年同四半期比2.1%増）、営業損失1,130百万円（前年同四半期は営業利益434百万円）、経常損失264百万円（前年同四半期は経常利益1,035百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は50百万円（前年同四半期比94.0%減）となりました。受注高につきましては16,489百万円（同38.3%減）となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。（セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載しています。）

（鉄構セグメント）

鉄構セグメントにおきましては、売上高は、鉄骨事業において首都圏再開発工事の製作が端境期にあり、前連結会計年度に比べ減少したものの、橋梁事業において前連結会計年度からの豊富な繰越高を受け、国土交通省、高速道路会社をはじめとした大型工事が順調に推移したことにより、全体では13,127百万円（前年同四半期比0.9%増）となりました。損益面は、鉄骨事業において売上ボリュームの減少に伴い利益が減少したことに加え、橋梁事業において一部工事での下部工工事の遅れから施工方法の変更や工期の延長に伴う原価の増加があった中、当第1四半期連結会計期間での設計変更の獲得までには至らず、結果として原価が先行する形となったことにより、営業利益142百万円（同80.6%減）となりました。受注高は、橋梁事業において国土交通省、高速道路会社を中心に受注を積み重ねることができたものの、前連結会計年度においては高速道路会社の大型工事2件の受注があったことから、鉄構セグメント全体の受注高は5,133百万円（同61.1%減）となりました。しかしながら当第1四半期連結会計期間における次期繰越高は、前年同四半期とほぼ同程度の水準を維持しています。

（土木セグメント）

土木セグメントにおきましては、前連結会計年度からの豊富な繰越高を抱えているものの、床版取替工事の更新事業において施工の本格稼働が第2四半期以降になり前連結会計年度に比べ減少したことにより、売上高は7,196百万円（前年同四半期比9.2%減）となりました。損益面は、当初契約と同程度の施工範囲拡大を伴う床版取替工事があり、その工事において原価が大幅に増加する結果となりました。追加契約協議を発注者と進めていますが、当第1四半期連結会計期間での正式契約までには至らず、結果として原価が先行する形となったことにより、営業損失473百万円（前年同四半期は営業利益261百万円）となりました。受注高は、国土交通省、高速道路会社を中心とした工事を積み重ねることができたことにより、6,031百万円（前年同四半期比38.0%増）となりました。その結果、当第1四半期連結会計期間における次期繰越高は前年同四半期を大幅に上回る水準となっています。

（建築セグメント）

建築セグメントにおきましては、前連結会計年度からの豊富な繰越高を受け、システム建築をはじめとした大型工事が概ね順調に推移したことにより、売上高は4,862百万円（前年同四半期比35.9%増）となりました。損益面は、当第1四半期連結会計期間において採算性が厳しいシステム建築案件の割合が増加したことに加え、一部S造建築の工事において、仕様変更に伴う設計変更協議を発注者と進めてまいりましたが、当第1四半期連結会計期間での獲得までには至らず、結果として原価が先行する形となったことにより、営業損失55百万円（前年同四半期は営業利益289百万円）となりました。原価が先行した工事においては、第2四半期以降に解消できると見込んでいます。受注高は、システム建築を中心に大型工事の受注を積み重ねることができたものの、前年同四半期の水準までには至らず、2,459百万円（前年同四半期比61.1%減）となりました。この結果、次期繰越高においては前年同四半期比では減少していますが、引き続き安定的な水準を維持しています。

（その他）

その他におきましては、売上高は2,628百万円（前年同四半期比11.0%増）となり、損益面につきましては、全般的に損益改善が図れたことにより営業損失128百万円（前年同四半期は営業損失171百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における「資産の部」は126,875百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,187百万円（ $\Delta 0.9\%$ ）減少しました。これは主に、受取手形・完成工事未収入金等が2,379百万円減少し、関係会社株式が1,044百万円増加したことによるものであります。

また、「負債の部」は72,250百万円となり、前連結会計年度末に比べ566百万円（ $\Delta 0.8\%$ ）減少しました。これは主に、短期借入金が1,862百万円及び未払法人税等が1,915百万円減少し、未成工事受入金が3,548百万円増加したことによるものであります。

一方、「純資産の部」は54,624百万円となり、前連結会計年度末に比べ620百万円（ $\Delta 1.1\%$ ）減少しました。これは主に、配当金の支払いにより利益剰余金が534百万円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の42.6%から42.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点で合理的に把握出来るものを反映した結果、通期業績予想につきましては、2019年5月14日公表の連結業績予想の内容と変更ございません。なお、今後何らかの変化が認識された場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	10,714	10,247
受取手形・完成工事未収入金等	46,432	44,052
未成工事支出金	1,408	2,067
その他のたな卸資産	1,014	1,072
その他	5,510	5,082
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	65,073	62,517
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	5,746	5,753
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	2,494	2,543
航空機(純額)	977	961
土地	14,889	14,889
リース資産(純額)	1,895	1,834
建設仮勘定	1,596	1,653
有形固定資産合計	27,601	27,636
無形固定資産		
	755	831
投資その他の資産		
投資有価証券	2,530	2,351
関係会社株式	29,402	30,447
長期貸付金	418	417
繰延税金資産	1,904	2,270
その他	1,037	1,063
貸倒引当金	△660	△660
投資その他の資産合計	34,631	35,890
固定資産合計	62,988	64,358
資産合計	128,062	126,875

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	28,112	28,237
短期借入金	2,932	1,070
1年内返済予定の長期借入金	5,445	5,057
1年内償還予定の社債	70	70
リース債務	723	830
未払法人税等	2,004	89
未成工事受入金	8,002	11,551
賞与引当金	2,133	1,072
完成工事補償引当金	260	255
工事損失引当金	1,211	1,619
その他	5,596	7,396
流動負債合計	56,493	57,249
固定負債		
社債	105	105
長期借入金	9,190	8,089
リース債務	1,256	1,081
繰延税金負債	52	46
再評価に係る繰延税金負債	1,476	1,476
役員退職慰労引当金	470	436
退職給付に係る負債	3,322	3,331
資産除去債務	205	205
負ののれん	151	146
その他	94	83
固定負債合計	16,324	15,001
負債合計	72,817	72,250
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,271	5,278
資本剰余金	10,746	10,729
利益剰余金	35,018	34,483
自己株式	△197	△198
株主資本合計	50,838	50,292
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,710	1,694
土地再評価差額金	980	980
為替換算調整勘定	499	499
退職給付に係る調整累計額	498	466
その他の包括利益累計額合計	3,687	3,640
新株予約権	2	2
非支配株主持分	716	689
純資産合計	55,245	54,624
負債純資産合計	128,062	126,875

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	26,243	26,783
売上原価	23,732	25,435
売上総利益	2,511	1,347
販売費及び一般管理費	2,076	2,477
営業利益又は営業損失(△)	434	△1,130
営業外収益		
受取利息及び配当金	24	28
受取賃貸料	37	36
負ののれん償却額	5	5
持分法による投資利益	667	927
補助金収入	67	58
その他	50	43
営業外収益合計	852	1,098
営業外費用		
支払利息	91	67
賃貸費用	118	126
その他	40	39
営業外費用合計	251	232
経常利益又は経常損失(△)	1,035	△264
特別損失		
投資損失引当金繰入額	6	—
特別損失合計	6	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,028	△264
法人税、住民税及び事業税	22	13
法人税等調整額	182	△325
法人税等合計	204	△311
四半期純利益	824	47
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△17	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	841	50

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	824	47
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	253	△129
退職給付に係る調整額	△16	△36
持分法適用会社に対する持分相当額	△94	117
その他の包括利益合計	142	△48
四半期包括利益	966	△0
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	984	3
非支配株主に係る四半期包括利益	△17	△3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,831	7,610	3,578	24,021	2,222	26,243
セグメント間の内部売上高 又は振替高	174	315	0	489	146	635
計	13,005	7,926	3,578	24,511	2,368	26,879
セグメント利益又は損失(△)	736	261	289	1,287	△171	1,115

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,287
「その他」の区分の損失(△)	△171
セグメント間取引消去	△56
全社費用(注)	△742
その他の調整額	117
四半期連結損益計算書の営業利益	434

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,940	6,494	4,858	24,292	2,490	26,783
セグメント間の内部売上高 又は振替高	187	702	4	893	137	1,031
計	13,127	7,196	4,862	25,186	2,628	27,815
セグメント利益又は損失(△)	142	△473	△55	△386	△128	△514

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△386
「その他」の区分の損失(△)	△128
セグメント間取引消去	△177
全社費用(注)	△668
その他の調整額	230
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,130

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 補足情報

受注、販売及び繰越高の状況

(1) 受注高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	13,192	49.4	5,133	31.1	△8,059	△61.1
土木	4,370	16.3	6,031	36.6	1,660	38.0
建築	6,314	23.6	2,459	14.9	△3,855	△61.1
その他	2,847	10.7	2,865	17.4	17	0.6
合計	26,725	100.0	16,489	100.0	△10,236	△38.3

(2) 販売高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	13,005	48.4	13,127	47.2	121	0.9
土木	7,926	29.5	7,196	25.9	△730	△9.2
建築	3,578	13.3	4,862	17.5	1,283	35.9
その他	2,368	8.8	2,628	9.4	260	11.0
合計	26,879	100.0	27,815	100.0	936	3.5

(3) 次期繰越高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第1四半期 連結会計期間末 (2018年6月30日)		当第1四半期 連結会計期間末 (2019年6月30日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	86,656	63.2	80,150	54.4	△6,505	△7.5
土木	28,925	21.1	49,165	33.4	20,239	70.0
建築	19,999	14.6	16,183	11.0	△3,816	△19.1
その他	1,572	1.1	1,747	1.2	174	11.1
合計	137,154	100.0	147,246	100.0	10,092	7.4

(注) セグメント間の取引については、相殺消去していません。